

第14回日本禁煙科学会学術総会in大阪 より

第14回日本禁煙科学会学術総会が9月21、22日の2日間、大阪市の大阪商業大学を会場に、開催されました。

全国40都道府県から禁煙支援や受動喫煙問題に各方面より取り組む人達が参加し、研究や活動の発表、講演、セミナー、シンポジウムが行われました。



禁煙ねっと石川からは一般演題の発表部門に新設された「ポスター発表」で2件と、口頭発表で2件の発表を行いました。

ポスター発表では、全国に先駆け禁煙支援団体として活動を始め、今日に至るまでの凡そ20年の禁煙ねっと石川の活動のあゆみについて、又、本年7月より金沢市内の屋内外全てのスポーツ施設の敷地内全面禁煙を実現させた金沢スポーツ事業団の取組みと、それを支援してきた禁煙ねっとの石川の取組みについて、夫々を遠藤理事長と福田副理事長が発表を行いました。



「禁煙ねっと石川の活動のあゆみ」

ポスター発表



「金沢市スポーツ施設敷地内禁煙の実施と成果」

口頭発表では中学校薬剤師をされる安田幸子会員が「養護教諭・担任と共同で行う喫煙防止教育とその検証」と題し、1年生に対して毎年行うアンケートの内容と結果の推移からみて喫煙防止教育のあり方を考察し発表されました。

タバコを勧められた時、夫々の言葉で断るロールプレイの実施や、生徒の「おじいちゃんに教えてあげたい！」と書かれた感想文の紹介がとても印象的でした。



遠藤理事長からは、「医師による小学校での喫煙防止教育の成人式における有効性の検討」と題し、喫煙防止教育の有効性の実証と共に、成人式でのアンケートにより改めて有害性を認知する機会を与える効果について発表されました。

シンポジウムでは金沢星陵大学スポーツ学科教授奥田鉄人理事はスポーツ医学の立場から、喫煙がスポーツに与える負の影響や、大学の運動部学生の調査より、所属する種目別の喫煙率と必要な酸素摂取量の関連等、興味深い講義がされました。



この学術総会では各分野からの”禁煙を科学する”講演、発表の多い中、地域に根ざし地道な活動のあゆみを紹介した、NPO法人禁煙ネット石川の『禁煙ネット石川のあゆみ』のポスター発表に対し、優秀演題賞が贈られました。



「禁煙ネット石川のあゆみ」 優秀演題賞を受賞



参加者と高橋裕子 日本禁煙科学会理事長

以上 事務局より